

2017年8月～11月実施 食物アレルギーへの緊急時対応 体験型出前セミナー

2017年8月～11月にかけて、「食物アレルギーへの緊急時対応 体験型出前セミナー」を開催しました。小児アレルギーエドゥケーターの宮城県立こども病院の鈴木看護師・村上看護師、森川小児科アレルギー科クリニックの高橋看護師を講師に招き、小・中学校、保育園、児童館の5施設で開催し教職員121名が参加しました。

食物アレルギーについて講義を受けた後に、実際にエピペン®トレーナーを用いて使用方法について確認しました。初めて手にした参加者もありましたが、落ち着いて取扱いから打ち方まで実践しました。

その後、グループに分かれて行ったロールプレイでは、教諭・養護教諭・校長・保護者・救急隊といった役割をそれぞれが担当し、食物アレルギー症状が出ている子どもに対しての対応方法について実際に動いてみました。実際に動いてみると、判断の仕方や職員間の連携について考えさせられたりと、座学だけでは学ぶことのできない部分まで習得できました。また、ロールプレイ実施後はグループ内で振り返りを行うことで積極的な意見交換がなされ、参加者全員が緊急時の対応について、共有できたようでした。



8月22日(八乙女中学校)



8月24日(八木山小学校)



9月13日(大和町内児童館)



10月13日(東北大学川内けやき保育園)



11月15日(七郷小学校)



小児シミュレータと
エピペン®トレーナー